

安中市青少年センター補導員会の活動紹介

1. 下校時の補導活動(夜間の市内パトロールは午後7時から約2時間、6月～2月まで毎月約3回実施しています。)



2. 補導員・青少推合同研修会(10月2日)

演題 「少年たちの表面化した問題行動の背景にある心理や環境と、困っている彼らに接する大人が大切にすべきこと」

講師 前橋少年鑑別所所長 八代 満帆子氏

「困った子ども」ではなく「困っている子ども」という見方をしてほしい。子どもの行動には大人の影響がある。非行少年を悪い子・ダメな子ではなく、非行の背景にどんな事情があるか、不幸にして見過ごされてきた問題や課題はないかという視点で、大人や地域が偏見なく見つけ、排除しないことが非行防止や治安につながるというお話でした。



3. 視察研修「ぐんま里山学校」(11月18日)

高崎市上室田町にある、不登校の児童生徒が多く通うNPO法人の学校を視察しました。変化していくこれからの時代に必要な「生き抜く力」＝「主体的に考えて行動する力」を身に付けさせることを目的としています。子どもたちに大切なのは学校に行くことではなく、将来社会で前向きに生きていける人になること、その基礎を身に付けることが大切という教育理念です。

昼までは子どもたちと飯ごう炊飯をしてレトルトカレーを食べ、子どもたちに外の施設を案内してもらいました。午後は、代表の落合ご夫婦から説明を聞きました。



4. 列車内補導活動(12月12日)

安中警察署の協力も得て、列車内補導活動を実施しました。安中駅と松井田駅から乗車し、高崎駅まで往復しました。教員の補導員と生徒が触れ合う良い機会にもなりました。

